

山行報告書

報告書作成

2009.11.30

山名 [山域]	権現岳赤岳 (11ヶ岳)	目的と方法	年末山行の下見
登山期間	H21.11.28~29	山行形態	テント泊・縦走
参加人数	2名		

行動記録

7:15 7:30 10:31 11:18~28 12:23~56 14:53

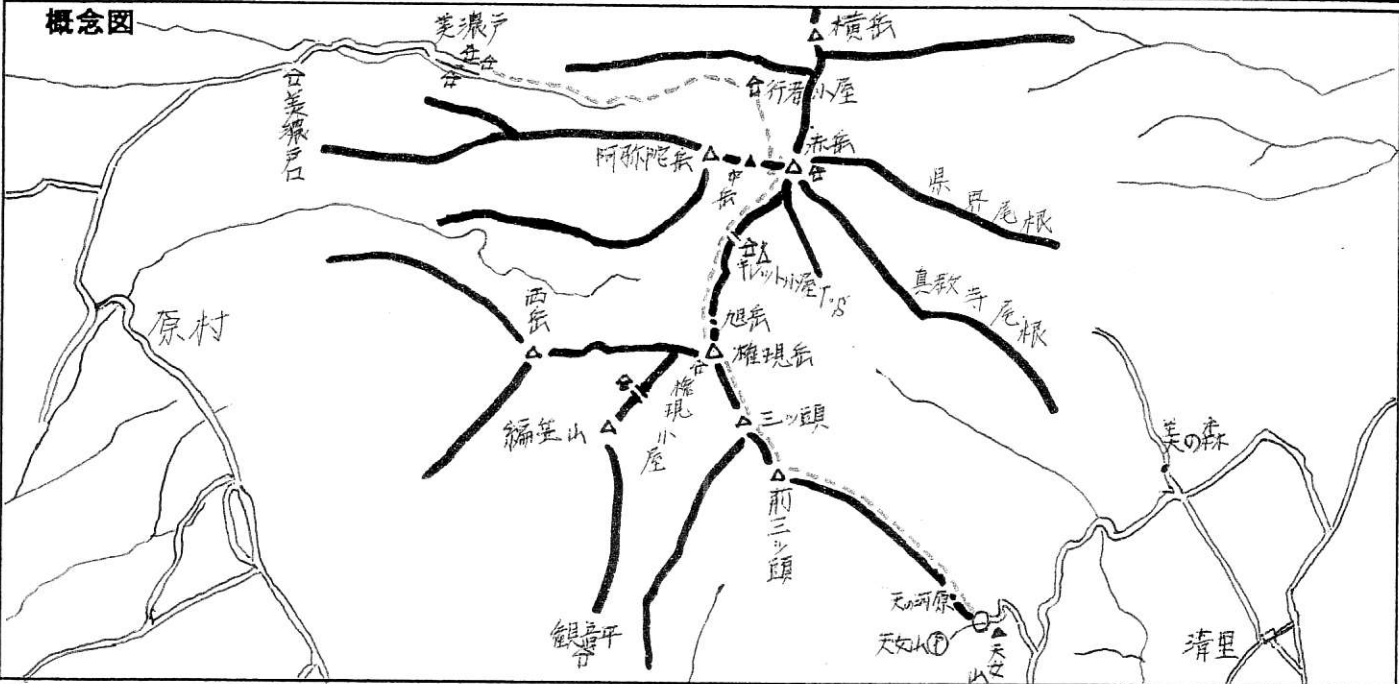
①/28 天女山① → 天の河原 → 前三ツ頭 → 三ツ頭 → 権現岳 → キレット小屋 T.S

6:45 9:49~10:09 11:50~12:10 13:45~50 14:09 2704m

①/29 下.山 → 赤岳 → 行者小屋 → 美濃戸 → 美濃戸口

2899.2m

概念図



日誌 ①/28 11月までは入れる天女山①を19kg背負い出発。途中の樹林帯より雪が出て来る。前三ツ頭からはず〜と積雪有り。三ツ頭に着くと権現岳・阿弥陀岳・赤岳が現われる。大晴天の中見晴しの良い稜線を進み権現岳に着くと編笠から来て三ツ頭へ下るグループの合点。旭岳方向に進むと風景が一変し北斜面は冬山になる。旭岳の細い尾根より20m程のハジゴを下り、ゆるやかに尾根をへて樹林中のキレット小屋着。T.Sにて雪を踏み固めテント設営、トイレ有り。水場は3分程下ると、チロチロと細く流れている。年末には凍っているかな? テン場より見える赤岳南斜面は雪はほとんど無いが右に天狗尾根をたがえ、そり立っている。炊きみ御飯などを食し、21:00就眠。①/29 4:00起床。雑炊を食す。天気予報では午前中曇り、午後雨となっていたが、朝日が眩しく、雲海に富士が浮かぶ。テン場を出発、ゆるやかな砂礫の尾根から、ルンゼ状の岩棚を登り、天狗尾根の頭に出る。岩後を進み、真教寺尾根や文三郎尾根の分岐をへて頂上に出る。直前、西から雲が上がり来て曇ってくる。赤岳頂上にはたれもせず、頂上小屋も営業していない。文三郎を下る途中今日始めて人に合点。行者小屋から美濃戸の中間まで雪道だった。美濃戸口に着くと雨になった。

感想 阿弥陀岳や中岳の北面も冬の形相をしている。下見には良い積雪と天候に恵まれ、楽しい山行になりました。美濃戸にいた登山の名古屋にある山岳会の人に車で美濃戸口まで乗せてもらえ、バスの時間にも間に合、助かりました。